

確認 丁寧語

▼丁寧語のうしろ

① 文末の表現を丁寧にする。

例 行きます。 田中です。(はいやいます。)

② 「お(う)」「を付けてる。

例 お米・ご飯・お菓子・お花

※「お米・ご飯」など、話し手が自分自身の言葉遣いを上品にする意図で用いる言葉を「美化語」といふことがある。

1 次のア・イの——線部のうち、丁寧語を用いているほうに○をつけなさい。

(1) ア () (夏休みには海に行きます。)

イ () (夏休みには海に行く。)

(2) ア () (わたしが山田です。)

イ () (わたしが山田だ。)

(3) ア () (きれいなお花を届ける。)

イ () (きれいな花を届ける。)

2 次の——線部を丁寧語を用いた表現に直して書きなさい。

(1) スキーに行った。

(2) 僕は中学校の一年生だ。

(3) 行っていいか。

解答

1 次のア・イの——線部のうち、丁寧語を用いているほうに○をつけなさい。

(1) ア (○) (夏休みには海に行きます。)

イ () (夏休みには海に行く。)

(2) ア (○) (わたしが山田です。)

イ () (わたしが山田だ。)

(3) ア (○) (きれいなお花を届ける。)

イ () (きれいな花を届ける。)

2 次の——線部を丁寧語を用いた表現に直して書きなさい。

(1) スキーに行った。

(2) 僕は中学校の一年生だ。

(3) 行っていいか。

(1) 行きました
(2) 一年生です
(3) いいですか